

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2019-150177(P2019-150177A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2018-35987(P2018-35987)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1 ベットランプと、

2 ベットランプと、

3 ベットランプと、

複数のリールと、

複数のリールを含んだリールユニットと、

前面が開口した遊技機筐体と、

遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、

内部抽せん手段と、

貯留数が表示され得る貯留数表示手段と

を備え、

遊技機筐体の内部には、

リールユニットと、

リールユニットを固定する固定部と、

遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、

主タンク部材の近傍に設置され、主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と

が設けられており、

主タンク部材の一部には、主タンク部材から補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、

リールユニットと固定部とは導電性を有する複数の係止部品によって保持可能に構成されており、

リールユニットと固定部とが複数の係止部品によって保持されている状態において、複数の係止部品のうち所定の係止部品の鉛直下方にスロープ部が配置されており、

補助タンク部材が遊技機筐体の内部に設置されている状態において、補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、第1部材と第2部材との間の距離は所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、

内部抽せん手段により、所定の結果が決定される場合と、特定の結果が決定される場合と、を有するよう構成されており、

内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止可能に構成されており、

所定図柄組合せが停止された場合は、所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体が付与されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、特定図柄組合せが停止可能に構成されており、

特定図柄組合せが停止された場合は、再遊技が付与されるよう構成されており、

所定の状況下における所定の遊技において内部抽せん手段により所定の結果が決定され、その後当該所定の遊技の次回の遊技を実行するためのベット数として3が設定されている状況下では1ベットランプと2ベットランプと3ベットランプとが点灯しており、その後1ベットランプと2ベットランプと3ベットランプとが点灯しており且つ貯留数表示手段に貯留数の表示として所定数が表示されている状況下において精算スイッチが操作されて精算処理が実行されるときは、3ベットランプと2ベットランプと1ベットランプとが消灯した後、貯留数表示手段に表示されている貯留数が更新されるよう構成されており、

電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となった場合は、電源断時処理が実行されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第1のタイミングで受け付けられて特定図柄組合せが停止されたときは、再遊技が付与されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となるまでの間に所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第1のタイミングで受け付けられ、その後電源断時処理が実行され、全てのリールが停止されたときに特定図柄組合せが停止されていなかった場合でも、電源復帰後の第2のタイミングで再遊技が付与されるよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る回胴式遊技機は、

1ベットランプと、

2ベットランプと、

3ベットランプと、

複数のリールと、

複数のリールを含んだリールユニットと、

前面が開口した遊技機筐体と、

遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、

内部抽せん手段と、

貯留数が表示され得る貯留数表示手段と

を備え、

遊技機筐体の内部には、

リールユニットと、

リールユニットを固定する固定部と、  
遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、  
主タンク部材の近傍に設置され、主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と  
が設けられており、

主タンク部材の一部には、主タンク部材から補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、

リールユニットと固定部とは導電性を有する複数の係止部品によって保持可能に構成されており、

リールユニットと固定部とが複数の係止部品によって保持されている状態において、複数の係止部品のうち所定の係止部品の鉛直下方にスロープ部が配置されており、

補助タンク部材が遊技機筐体の内部に設置されている状態において、補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、第1部材と第2部材との間の距離は所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、

内部抽せん手段により、所定の結果が決定される場合と、特定の結果が決定される場合と、有するよう構成されており、

内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止可能に構成されており、

所定図柄組合せが停止された場合は、所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体が付与されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、特定図柄組合せが停止可能に構成されており、

特定図柄組合せが停止された場合は、再遊技が付与されるよう構成されており、

所定の状況下における所定の遊技において内部抽せん手段により所定の結果が決定され、その後当該所定の遊技の次回の遊技を実行するためのベット数として3が設定されている状況下では1ベットランプと2ベットランプと3ベットランプとが点灯しており、その後1ベットランプと2ベットランプと3ベットランプとが点灯しており且つ貯留数表示手段に貯留数の表示として所定数が表示されている状況下において精算スイッチが操作されて精算処理が実行されるときは、3ベットランプと2ベットランプと1ベットランプとが消灯した後、貯留数表示手段に表示されている貯留数が更新されるよう構成されており、

電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となった場合は、電源断時処理が実行されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第1のタイミングで受け付けられて特定図柄組合せが停止されたときは、再遊技が付与されるよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となるまでの間に所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第1のタイミングで受け付けられ、その後電源断時処理が実行され、全てのリールが停止されたときに特定図柄組合せが停止されていなかった場合でも、電源復帰後の第2のタイミングで再遊技が付与されるよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、

遊技の進行を制御するメイン処理と、  
前記メイン処理の実行中に、所定時間ごとの割り込みによって実行する割り込み処理と

、  
複数のリールと、  
複数のストップスイッチと、  
内部抽せん手段と、  
情報を表示可能な情報表示部と、  
を備え、

ストップスイッチの有利な操作態様を有する遊技において、当該有利な操作態様を特定可能な情報を情報表示部に表示する指示遊技と、

遊技区間のうち、前記指示遊技を実行しない通常区間と、  
遊技区間のうち、前記指示遊技を実行可能な有利区間と、

有利区間である報知態様と通常区間である報知態様とを少なくとも採り得る有利区間表示器と、

有利区間である場合にオンとなる有利区間フラグと、  
新たに有利区間に移行してから、当該有利区間にて獲得した遊技価値数を計測可能な差枚数カウンタと  
を備え、

前記差枚数カウンタのカウンタ値が所定の終了条件を満たした場合には、通常区間に移行するよう構成されており、

前記メイン処理として、  
前記差枚数カウンタのカウンタ値をクリアする処理 A と、  
前記有利区間表示器を前記通常区間である報知態様とするための処理 B と、

有利区間フラグをオンからオフにする処理 C と  
を少なくとも実行可能であり、

有利区間から通常区間に移行する場合には、前記処理 A 及び前記処理 B を実行した後に前記処理 C を実行するよう構成されている  
ことを特徴とする回胴式遊技機である。